

地質と石文化から知る能美のまち－シリーズ1

講演会「能美の地質・岩石の成り立ち－日本海の歴史を北陸の地層にたどる－」

講師:塚脇真二氏(金沢大学環日本海域環境研究センター 教授、
UNESCO/アンコール世界遺産国際管理委員会特別専門家委員会委員)



白山と手取川にいだかれた、緑あふれる能美の丘陵、水田が連なる平野。石器時代から現代まで、そこに家を建て、集落を築き、力を合わせて暮らしてきた人たち。そして、今を暮らす私たち。このふるさとの丘陵や平野の成り立ちについて、私たちはどれくらい知っているでしょう。

ふるさとを形づくる基礎である地質と岩石について、最新の調査研究と知見をもとに、市民の皆さんと学びます。足元を深く知れば、能美の町の景色が違って見え、遠い歴史と現在そして未来が時空を越えてつながるかもしれません。

- 日 時:2024年1月27日(土)午後1時30分～3時15分
- 会 場:能美市立辰口図書館 2階 ホール
- 主 催:能美の里山ジオの会
後 援:能美市教育委員会
能美石材組合
- 申し込み・問い合わせ:能美の里山ジオの会のLine(公式)。

